

なかとんべつ 町議会だより

Volume

214

令和3年4月26日発行

4月2日
認定こども園入園式



4月7日
小学校入学式

4月6日
中学校入学式



第1回定例会議決結果の一覧	3
私たちの一般質問	4
議案審議のあらまし	8
令和3年度予算の内容	10
予算審査特別委員会	12
第1回臨時会結果	13
いきいきふるさと常任委員会報告	14
議員の活動実績・議会の動き・あとがき	16

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により規模が縮小となった入園式、入学式の様子

コロナ禍の中、子どもたちは様々な行事が中止又は縮小されています。このような状況を1日でも早く終わらせるためにも、我々大人がコロナ禍でのルールを守り、子どもたちの見本となる行動をとりましょう！



令和3年 第1回 定例会

令和3年第1回定例会が、3月9日から17日まで9日間の会期で開かれました。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染対策を万全にした中での開催となり、招集日の3月9日には、町長の行政報告7点（国民健康保険病院常勤医師の退職、職員の除雪中の事故、暴風雪災害対策、水道事故対策、停電事故対策、太陽光発電システムの運用、新型コロナウイルス感染症対策）が報告されました。教育長の教育行政報告（立命館慶祥高等学校の地方創成人材育成制度に関する協定）に続いて、副町長の選任の同意、条例の一部改正、道路線の変更、令和2年度補正予算、議会会議規則の一部改正など1同意、17議案を原案どおり可決し散会しました。

3月14日日曜日に開催された「サンデー議会」では、小林町長が令和3年度町政執行方針、田邊教育長が令和3年度教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて6名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。

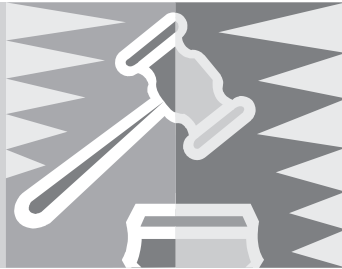
本会議休会中の3月15日～16日に令和3年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（宮崎泰宗委員長）で審査。委員会審査を経て、再開された本会議で全8会計予算を原案どおり可決、全日程が終了し3月16日に閉会しました。

- ① 町職員のマイカー通勤
- ② 町内福祉施設と病院の存続
- ③ 酪農振興と6次産業化の推進
- ④ 環境の保全と創造
- ⑤ 社会教育
- ⑥ 新型コロナウイルスの弱体化等を見据えた今後の対応
- ⑦ 町長の任期中
- ⑧ 農協合併

について6議員が一般質問

- （細谷議員）
- （東海林議員）
- （高橋議員）
- （長谷川議員）
- （宮崎議員）
- （星川議員）

第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

○同意第1号 副町長の選任同意

※ ○は同意

○議案第2号 地域づくり活動支援補助金条例 (一部改正)

○議案第3号 障がい者等就労促進助成条例 (一部改正)

○議案第4号 介護保険条例 (一部改正)

○議案第5号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例 (一部改正)

○議案第6号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例 (一部改正)

○議案第7号 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例 (一部改正)

○議案第8号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例 (一部改正)

○議案第9号 民間賃貸住宅建設促進助成条例 (一部改正)

○議案第10号 町道路線の変更

○議案第11号 令和2年度一般会計補正予算

○議案第12号 令和2年度自動車学校事業特別会計補正予算

○議案第13号 令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算

○議案第14号 令和2年度国民健康保険病院事業会計補正予算

○議案第15号 令和2年度水道事業特別会計補正予算

○議案第16号 令和2年度下水道事業特別会計補正予算

○議案第17号 令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

○発議第1号 町議会会議規則 (一部改正)

※ ○は原案可決



議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申し上げております。

ここが聞きたい、知りたい 私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

町職員のマイカー通勤について

自動車は日常生活に欠かせないものとなっており、常に交通事故と隣り合わせた危険性を持った乗り物です。

本町の職員も大半が通勤手段としてマイカーを使用しており、交通事故が起きることも想定されます。

そこで、マイカー通勤職員の定期的な免許証の確認、自動車保険の加入確認を行っているのか。

また、職員に対し、安全運転等について日ごろからどのような指導を行っているのか。さらに、通勤手当についてであります。支給内容及び支給額がどのようなになっているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

公用車を運転する可能性のある会計年度任用職員も含め、町職員の免許証の確認は安全運転管理者である総務課長が年に1度行っております。

また、枝幸地区安全運転管理者協会総会で枝幸警察署から説明を受けた道路交通法の改正等を全職員に周知しております。

さらに、交通安全期間や年末年始、ゴールデンウィーク、お盆等の家用車を利用して移動する機会が増える際には、課長会議を通じて全職員に安全運転への注意事項や心構え等を周知しているところでです。

家用車における通勤手当の支給に関して、職員給与条例第10条の通勤手当に沿って支給しております。

東海林繁幸 議員



質問

町内福祉施設と病院の存続について

本町の人口構成を考えると、福祉施設の存在は大変大きな存在であります。この施設の維持をどうするのか、次について伺います。

①長寿園は絶対に必要な施設として、管理運営を今後も継続して支援する考えはありますか。

②長寿園の課題と思われる財政等についての支援をどうしますか。

③厚生園も今後寄宿棟などの改修は、多額の経費を要すると考えられます。この対応を町としてどうすべきだと思いますか。

④病院の将来について、令和4年度を改革の第一段としているが、これをいつ決定し実現しようとしているのか。

⑤こども園について、現状の課題と今後の職員配置について伺います。

⑥居宅介護サービスについて、介護認定者でなく、それ以外の老人世帯などへの介護サービスへの検討は進められましたか。

答 弁 ○小林町長

本町にとって福祉施設の存在は大変重要なものと認識しております。支援や協力を求められた際には町としても継続して支援をしていきたいと考えております。

長寿園の財政の問題について、非常に厳しい状況であると認識しております。今後は、財政状況の分析を行うためコンサルに委託し、

施設側に提案をしながら財政状況の見直しを行っていききたいと考えております。

職員確保は、昨年度から外国人介護福祉人材育成支援協議会に加入し、少しでも多くの学生を南宗谷福祉会で働いてもらいたいと思います。

天北厚生園の施設改修に係る経費について、国や道の補助金等を活用しながら、施設の負担を軽減できるような対応を進めていきたいと考えております。

病院の将来計画の策定に向けて、基本計画は新年度の早い段階で決定していきます。第一段階の見直しとして病床の減床と介護医療院の併設は令和4年度早期の開始に向けていく予定としております。

認定こども園の指導職員については、現在、退職した再任用職員により保育士定数を何とか確保している状態です。今後も、人的なつながり等も使いながら職員確保を目指します。

介護認定者以外の介護サービスについては、地域包括の担当者が旭川市の社会福祉協議会で実施しているファミリーサポートセンターの介護型の研修会に参加しています。地域でお互いに助け合い支え合う相互援助活動となりますが、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指すためにも、この制度を早急に立ち上げていきたいと考えてお

ります。

高橋憲一 議員



質問

酪農振興と6次産業化の推進について

本町の基幹産業として位置づけられている酪農ですが、今から30年前に乳業工場が撤退し、今また農協が合併統合され支所としては存続しますが、雇用の場として将来に不安は大きいものがあります。町は6次産業化の一環として「なかとん牛乳」に取り組んでいます。以前、乳製品加工施設を検討した経過がありますが、酪農振興、6次産業化の牽引役として、また雇用の場としても、町が率先して取り組む必要があると思いますがいかがですか。

答 弁 ○小林町長

「なかとん牛乳」は地域内の生産物を活用し、町内の利用と町外へのPRの手段の一つとして、町として製造販売しているところです。6次産業化推進のきっかけづくりにしたいとも考えています。町が全面的に進めるだけでなく、取り組みを考えている人材やグループに支援を行い、雇用の場が生まれ、地域が活性化していくことが望ましいと考えています。

そのためにも農産物加工研究施設等の活用を図り、人材育成や支援のあり方について、様々な方々に意見を伺いながら取り組みを進めていきたいと考えています。

長谷川 克弘 議員



質問

環境の保全と創造について

町政執行方針でも述べられている地球温暖化対策について、今年度太陽光発電システムを建設し、環境に配慮した自然エネルギーの利活用が始まったものと認識しております。

そこで、地球温暖化の主な原因の一つとして大気中の二酸化炭素の濃度が上昇していることが挙げられる訳ですが、町として今後におけるカーボンニュートラルまたは、カーボンポジティブに関するお考えについて町長に伺います。

答 弁 ○小林町長

本町でもこれまで第2次地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設のLED化や災害対策を合わせ庁舎に太陽光発電システムを構築するなどの取り組みを行ってきたほか、森林環境譲与税を森林・林業の再生にも力を入れ、公共施設で薪ストーブを置くなど、今後の木質バイオマスエネルギーの導入に向けた機運の醸成も図ってきているところです。

来年度では、総合計画と合わせて次期環境基本計画も策定する予定ですが、これらの作業に当たっては、SDGsの推進に合わせて「2050年二酸化

炭素排出実質ゼロ」の表明に向けて検討を指示しています。

豊かな森林環境を持つ本町では、カーボンポジティブを実現できる可能性もあると考えており、再生可能エネルギー導入等によるカーボンニュートラルの実現だけでなく、豊かな森づくりを進めるなど地球温暖化対策への貢献を高めていきたいと考えております。

質問

社会教育について

新型コロナウイルス感染症対策による、文化・芸術・スポーツといった各団体が今年度活動の自粛や休止を余儀なくされております。子どもが携わるスポーツ振興についてもことごとく中止となり管内の行事さえ行えない受難ともいえる状況でございます。

そこで、社会教育について教育長にお伺いいたします。教育委員会は専門的技術的指導または助言を与えたり、社会教育に関する事業に必要な物資の確保につき援助を行うことができるかとされており、専門的職員社会教育主事と各団体がまさに協働して目標達成するものと認識いたしますが、その関与について十分とお考えか伺います。

答 弁 ○田邊教育長

教育委員会には、社会教育を推進するために社会教育主事と社会教育主事補が配置されております。日ごろから、各文化団体や体育団体と連絡を取りながら、連携・協力を図り、活動の支援に努めております。

各団体の活動状況の把握、必要な物品の整備、活動場所の確保等、関与が不十分であると考えている団体があると認識させていただきま

す。この状況の改善を図るべく、各団体への適切な指導助言や必要とする物資の援助に努めてまいります。



コロナ禍での活動が求められる社会教育

宮崎泰宗 議員



質問

新型コロナウイルスの弱体化等を見据えた今後の対応について

新型コロナウイルスの影響による様々な自粛等によって疲弊している観光や飲食関連を中心とした地域経済の活性化対策など、今後の対応について伺う。

観光の分野については、観光まちづくりビューローが洗い出しを行っている問題等への対応をどのように考えているのか。

商工業については、新年度も例年よりプレミアム率等を高めた商品券の発行などを予定していると思うが、大きな影響を受けている飲食関連への支援も必要ではないか。

また、病院や福祉施設における面会制限などの措置について、近隣の感染状況からは、長期化している入院患者や利用者等への影響を考慮した一時的な緩和も可能ではないか。

新年を迎えてもコロナウイルスは消滅せず加えて地震や大雪、町内では断水や度重なる冬の停電なども起きており、町民生活への不安は人口減少に直結すると思うが、いかがか。

答 弁 ○小林町長

なかとんべつ観光まちづくりビューローが現在の体制になってからは、課題や問題点に対する要望も出されるようになり、今後密に協議をしながら事業を支援していく。

商工業者に対するコロナ対策関連として、令和2年度補正予算で支援金の事業を進めているほか、新年度に向けては感染予防に関する備品等購入費用の支援やプレミアム商品券などを計画しており、地域経済対策を含めて商工会と協議をしながら進めていく。

町国保病院の面会制限については、今後の感染やワクチンの接種状況を見ながら適切に対応を図っていききたいと考えており、福祉施設についても同様をお願いをしていきたいと思っています。

全町的な暴風雪や停電事故については防災無線による情報提供、局地的な断水事故や停電事故についても地区ご

とへの住民周知や高齢者に対しては個別での電話連絡、訪問による給水などを行った。冬期における早急な避難所の設営等が出来るよう訓練を重ねていきたいと考えている。

星川 三喜男 議員



質問

町長の任期中について

町長の2期目の折り返しの年となりました。そこで、町政執行方針の中からお聞きいたします。

①醸造用ブドウの栽培試験の継続とありますが、私は今年度で今後の栽培か中止かを決める時期だと思いますが、町長のブドウ栽培に対しての決意をお伺いします。

②小中学校の校舎新築について伺い

ます。教育行政執行方針にもありませんが、なかなか作業が進んでいないようですが、町長の任期中に形のある方向性を見いだせることができるのか。

答 弁 ○小林町長

醸造用ブドウ栽培は、4年間の試験栽培の結果、豪雪かつ厳寒の地である本町でも栽培していける可能性があることがわかりましたが、課題も多くあります。新たな地場産業の立ち上げと特産品開発、ブドウ栽培による地域おこし、道北におけるワイン文化の創造を目的として、挑戦する価値は十分にあると考えております。今後はできるだけ多くの町民の方に参加、応援して頂けるようご理解を得ながら次の段階に進めていきたいと考えております。

小中学校の校舎につきましては、防災上の課題などもあり進んでおりませんでした。建物ありきではなく、子どもたちが個性豊かにそれぞれの力を伸ばしていけるような教育環境を作ることが大事であります。ICTを活用した学びのあり方や地域と協働する学校のあり方などを多くの町民のみなさんで考えてもらい、未来の学びの場づくりを進めていきたいと思っております。



醸造用ブドウ実証栽培町民説明会

質問

農協合併について

令和3年3月1日付で中頓別農業協同組合が合併となり、今後とも町の基幹産業である酪農、農業経営に対して今まで通りの助成、補助などを行政としての支援、指導をお願いし、浜頓別町、猿払村の2行政が本町にない支援策があるかと思いますが、2町1村が足並みが揃うような今後の支援を願いますが、町長の所見をお伺いします。

答 弁 ○小林町長

本年3月1日をもって、中頓別農

業協同組合が東宗谷農業協同組合と合併され、新たな組織体制へと生まれ変わりました。

町といたしましては、農協が合併となっても酪農業が本町の基幹産業であることは変わらないことから、今後も各農家の経営の安定化を図り、地域の生産力の維持・向上を図るための助成・支援制度を継続していく考え方をしております。農協合併に伴い、今後各自自治体の連携や農協との意見調整等を図っていくことが重要であると認識しておりますので、担当者における意見調整の場を設けていけるよう努めていきたいと考えております。

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など25議案を審議しました。

令和3年度各会計予算は、予算審査特別委員会（宮崎泰宗委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

令和2年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月6日議決

○議案第2号 地域づくり活動支援補助金条例（一部改正）

地域振興と町民福祉の向上を図ることを目的に地域づくりを推進する事業に対して補助金を交付するものであり、引き続き制度の継続を行うため、5年間の延長を行うもの。

○議案第3号 障がい者等就労促進助成条例（一部改正）

障がい者等の就労促進と職場への定着を図るため、本年度でその効力を失うことから、障がい福祉計画に沿った

地域福祉推進事業の取り組みを継続するため改正するもの。

○議案第4号 介護保険条例（一部改正）

令和3年度から令和5年度までの介護保険料を定めるため、介護保険条例の一部改正を行うもの。

○議案第5号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例（一部改正）

○議案第6号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例（一部改正）

○議案第7号 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例（一部改正）

○議案第8号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例（一部改正）

介護保険法、老人福祉法及び社会福祉法の規定に基づき、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関

する基準等の一部を改正する省令が交付されたことにより、それぞれ条例の改正を行うもの。

※議案第5号から第8号の改正内容は同じものとなっています。

○議案第9号 民間賃貸住宅建設促進助成条例（一部改正）

良質な賃貸住宅の供給の促進を図り、もって町民の定住を図ることを目的に町内に民間賃貸住宅を建設する個人又は法人に対して、引き続き制度の継続を行うため、3年間の延長を行うもの。

○議案第10号 町道路線の変更
あかね5条通り線の終点及び延長を変更するもの。

○議案第11号 令和2年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ2千449万円を追加し、予算の総額は42億220万円に。

決算見込に基づく追加、減額のほか、国保病院に対する繰出金1億2千174万円を追加して総額3億6千531万円に。基金費では、地域活性化基金に1億4千780万円を積み立て、総額1億6千256万円とするもの。

○議案第12号 自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ39万円を減額し、予算の総額は4千557万円に。

歳出では、決算見込に基づく追加、減額。歳入では、教習生の減により授業料を減額して、総額2千588万円とするもの。

○議案第13号 国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ140万円を減額し、予算の総額は2億4千2万円に。

歳出では、決算見込に基づき減額。歳入では、道支出金の保険給付費等交付金を100万円減額して、総額1億8千149万円とするもの。

○議案第14号 国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業収益は、収入で入院・外来収益合わせて1千943万円を減額。一般会計繰入金として1億2千174万円を追加し、繰入金総額3億6千531万円に。収入総額は5億7千518万円に。支出では、薬品費に860万円を減額し、材料費総額5千100万円に。

○議案第15号 水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ215万円を減額し、予算の総額は1億2千856万円に。

修繕費で200万円追加となるが、委託料、工事請負費、公課費で減額するもの。

○議案第16号 下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ1千207万円を減額し、予算の総額は2億5千949万円に。

決算見込に基づき、委託料、工事請負費等を減額するもの。

○議案第17号 後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ167万円を追加し、予算の総額は3千277万円に。

広域連合納付金を追加するもの。

○発議第1号 町議会会議規則（一部改正）

改正

議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たったの諸要因に配慮するため、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定するもの。

また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて、請願者一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるもの。



会議規則の改正を説明する長谷川議会運営委員長

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

『感染防止が人類最大の防御策』

世界中で新型コロナウイルスと戦っているが、果たして人類は新型コロナウイルスに勝てるのか？それにはウイルスの本質について、わかっているだけでも皆が知る必要がある。

咳の飛沫で空中に拡散した新型コロナウイルスは最長で3時間生存できる。段ボールで最大24時間、プラスチックやステンレスの表面では最長7日間生存する。銅の表面では4時間で死滅、紙、衣服では14日間、紙幣やスマホでは28日間生存、アルコールには弱く、紫外線では死滅、熱水も有効だそうです。

従って感染防止には、マスクの着用、うがいをする、手指は石鹸で丹念に洗う、換気をする、食器は熱水で洗浄、お互いマスクをしている時は1メートル以上の間隔を取る、出来るだけ人との接触を避ける、郵便物や紙幣も受け取ったら消毒する。

日本はワクチン接種も遅れているので、そういう基本的なことを一つ一つ皆で努力することが感染防止に繋がる。

我々にできることはそれしかない。

（綴人 村山 義明）

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**
又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel6-2244（議会事務局）へ。

令和3年度 8会計予算成立

～総額52億7,645万円～



予算審査特別委員会（宮崎泰宗委員長）

一般会計をはじめとする令和3年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（宮崎泰宗委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月15日、16日に審査を行い、原案可決。
16日、再開された本会議で宮崎委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決されました。

令和3年度予算編成内容

本年度の予算総額は、52億7,645万円で前年度比1億8,246万円（3.6%）の増額となりました。一般会計は、前年度比3億1,310万円（8.7%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税は増額が見込まれることから、前年度比6,985万円の増額としています。国庫支出金では、新型コロナウイルス感染対応交付金の計上などにより、1億3,804万円の増額、繰入金では、長寿園施設改修拡張事業基金や公共施設整備等基金などの基金繰入金の増により4,907万円の増額、町債では、過疎対策事業債や緊急防災・減災事業債の対象事業の減などにより3,271万円の減額となっています。歳出では、地域おこし協力隊などの採用や令和2年度から適用された会計年度任用職員制度に伴う昇給などにより人件費で1,798万円増額、物件費では、除排雪業務を民間事業者へ委託したことなどにより4,006万円増額となりました。補助費では、草地畜産基盤整備事業参加者負担金や一己内橋設計道営事業負担金の計上などにより1億4,019万円の増額、普通建設事業では、農地耕作条件改善事業の計上などにより3,716万円の増額となりました。

財政健全化に努力しておりますが、近年、町債の借入れが増加傾向にあるとともに、収入の多くを占める地方交付税については依然不透明な部分が多く、予算執行にあたっては行政サービスを低下させることなく、効率の追求などを行いながら収支均衡に向け最大限努力してまいります。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

年 度 別 会 計 別		令和3年度 予 算 額	平成2年度 予 算 額	比 較	
				金 額	率%
一 般 会 計		38 億 9,276	35 億 7,966	3 億 1,310	8.7
自動車学校事業特別会計		5,271	3,922	1,349	34.4
国民健康保険事業特別会計		2 億 1,246	2 億 4,101	▲2,855	▲11.8
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	5 億 7,106	5 億 6,469	637	1.1
	資本的収支	1,426	1,802	▲376	▲20.9
水 道 事 業 特 別 会 計		1 億 1,263	1 億 2,831	▲1,568	▲12.2
下 水 道 事 業 特 別 会 計		1 億 7,180	2 億 6,993	▲9,813	▲36.4
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計		2 億 1,572	2 億 2,263	▲691	▲3.1
後期高齢者医療事業特別会計		3,305	3,052	253	8.3
合 計		52 億 7,645	50 億 9,399	1 億 8,246	3.6

■一般会計

歳 入

(単位：万円)

款	3 年度	2 年度	比 較	増減%
町 税	16,486	15,977	509	3.1
地 方 譲 与 税	6,050	6,050	0	0
地 方 交 付 税	202,347	195,362	6,985	3.5
使用料手数料	8,466	8,651	▲185	▲2.2
国 庫 支 出 金	47,621	33,817	13,804	29.0
道 支 出 金	24,940	16,193	8,747	35.1
財 産 収 入	947	907	40	4.2
繰 入 金	25,621	20,714	4,907	19.2
諸 収 入	4,931	4,657	274	5.6
町 債	46,538	49,809	▲3,271	▲7.0
そ の 他	5,328	5,829	▲501	▲9.4
合 計	389,275	357,966	31,309	8.0

歳 出

(単位：万円)

款	3 年度	2 年度	比 較	増減%
議 会 費	5,035	5,064	▲29	▲0.6
総 務 費	77,115	78,269	▲1,154	▲1.5
民 生 費	42,157	44,961	▲2,804	▲6.7
衛 生 費	42,299	40,220	2,079	4.9
労 働 費	6	7	▲1	▲16.7
農 林 水 産 業 費	42,592	26,991	15,601	36.6
商 工 費	13,852	13,331	521	3.8
土 木 費	60,224	50,098	10,126	16.8
消 防 費	13,629	15,838	▲2,209	▲16.2
教 育 費	27,443	24,488	2,955	10.8
公 債 費	44,440	35,725	8,715	19.6
諸 支 出 金	20,184	22,924	▲2,740	▲13.6
そ の 他	300	50	250	83.3
合 計	389,276	357,966	31,310	8.0

予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総 務 費	働き方改革推進プロジェクト事業	1,906	労働力確保調査、企業創出、移動手段確保維持など
	地方創生臨時交付金事業	6,182	感染症対策、経済対策
衛 生 費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	1,549	ワクチン接種委託、医師派遣委託など
農 林 水 産 業 費	農地耕作条件改善事業	15,965	農地耕作条件改善農作業道 4 箇所
	道営草地整備型公共牧場整備事業	2,539	参加者負担金
商 工 費	ピンネシリ温泉運営事業	2,395	指定管理料、施設維持管理委託料
	なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業	2,827	なかとんべつ観光まちづくりビューロー事業補助、地域おこし協力隊
土 木 費	除排雪事業	8,967	除雪ドーザ 1 台更新、除排雪業務委託など
	中頓別弥生線交付金事業	20,790	一己内橋の架換えに係る設計負担金
	秋田原野線交付金事業	11,000	延長 200m、幅員 5.5m
教 育 費	英語力育成事業	1,247	中学生夏季英語研修、実用英語技能検定

予算審査特別委員会 主な質疑&答弁

○一般会計

歳出

■総務費

問 職員が出張で新型コロナウイルス感染拡大地域に行った場合、どのような対応を考えていますか。
(西浦委員)

答 感染の状況にもよりますが、今現在は札幌などに行っても特別なことは考えていません。ただ、感染がかなり増えてた時期については、帰宅後1週間或いは2週間期間を空けて、その間はテレワークする対応を取ってきたところです。
(小林総務課長)

問 過疎地域における働き方改革プロジェクトについて、雇用の創出などの目標値は定めていますか。
(長谷川委員)

答 これは国の地方創生推進交付金を活用した事業となりますので、国に提出している計画書においては目標設定しています。その中で、就業者の増などの目標を掲げています。
(笹原総務課参事)

問 中頓別版ハローワークについて、町内の民間企業にも最近案内があったと思います。ただ行政の中で、それなりの役職を持った方の退職が目立っています。定着しづらい理由など今後に向けて信憑性を持たせるようなことがあれば伺います。
(宮崎委員長)

答 最近、若い方々の中では転職ありきと基本的な考え方を持っているとありますが、役場にはいろいろな仕事があるので、自分のやりたい仕事に就けない場

合もありますので、今後は面談等により聞き取りをしながらなるべく定着を進めていきたいと考えています。
(小林総務課長)

■民生費

問 外国人介護福祉人材育成支援協議会負担金が530万円、森のこども園事業委託料が332万円これらの仕組みを伺います。
(東海林委員)

答 外国人介護福祉人材は、今回要望している人数が2名おります。まず、協議会負担金として、2名分で500万円、正会員負担金30万円の事業となります。
(相馬保健福祉課長)

問 森のこども園委託事業は、そうや自然学校に200万円、稚内のうち自然学校に100万円委託する事業となりますか。
(相座こども園園長)

答 ファミリーサポートセンター事業について、立ち上げ時と比べて利用者が随分少なくなっていると伺っています。なかなかマッチングできない理由はありますか。
(長谷川委員)

答 子どもの数が以前と比べて少なくなってきたことと併せて、こども園に預けて働いているお母さんが増えてきているのでニーズとして減っているのが現状です。
(山田保健福祉課参事)

■衛生費

問 新型コロナウイルス関係の医師等派遣委託料の120万円は、誰に何処に支払うのですか。
(東海林委員)

答 新型コロナウイルス接種は、来年度病

院に委託して個別接種及び集団接種でワクチン接種を実施する予定です。支払は委託先である国保病院となります。
(山田保健福祉課参事)

■農林水産業費

問 銃猟免許取得補助金について、この補助金を使って免許を持った人がいますが、特に若い人が駆除業務に行ってくれないのが現状です。町としてこのことをどのように考えていますか。
(細谷委員)

答 補助金を活用して狩猟者の登録をしているので、ベテラン狩猟者の指導など協力をいただきながら有害鳥獣駆除に貢献していただければと考えています。
(平中産業課長)

問 6次産業のミルクプラントについて、製造を週2回から3回にする考えはないですか。また、農協合併に当たって、牛乳提供が今まで通り来るのか伺います。さらには、ブドウについて今の圃場がまだ継続して成長を見るのか新たな計画がないのか伺います。
(星川委員)

答 なかとん牛乳ですが、交付金を活用して60ℓの製造機械を倍の120ℓの機械に変えました。それにより学校給食に提供する場合、週3回から週2回で出来るようになりました。農協合併後の牛乳の提供は、現時点では変更ない考え方をしております。ブドウについては、新たに試験栽培の考え方は今年度していません。
(平中産業課長)

■商工費

問 農業系の地域おこし協力隊は卒業後、

今度は農林水産業の補助があるようですが、農業担い手の協力隊員の募集は考えないですか。

(長谷川委員)

答 協力隊の事業は、都市部から地方に起

業あるいは定住を目指してもらう制度になりますので、ニーズや相談があれば取り組むことは可能です。

(永田産業課参事)

■商工費

問 公営住宅管理の関係で、公共施設に

いては町の負担で修理されていると思いますが、公営住宅については入居者の負担になっているのでしょうか。

(宮崎委員長)

答 公営住宅で雪などが落ちた時に被害が

あった場合は、町で加入しています自然災害保険で対応していますので、原因にもありますが基本的には町で対応することと考えています。

(土屋建設課長)

○自動車学校事業特別会計予算

問 来年度から近隣町村支援金が260万

円ありますが、初めての内容ですので町村ごとの金額、割合の率などの説明が必要となりますので、資料を後ほどいただけますか。

(東海林委員)

答 後ほど皆さんに提出させていただきます。

(遠藤副町長)

○国民健康保険病院事業会計予算

問 ケアマネージャーは現在1名だと思

いますが、1名増加させて2名にするのですか。それとも、もうすでに2名いるのですか。

(東海林委員)

答 現在は1名です。4月1日付け採用に

向けて2名体制にする予定です。

(長尾病院事務長)

○水道事業特別会計予算

問 水道使用料が216万円減額計上にな

っています。これは約4%の減収になりますので、分析はしていますか。

(東海林委員)

答 水道使用料は前年度の実績から予測したのになりますので、細かい分析までは至っていませんでした。今後実績を見ながら原因究明を検討したいと思っています。

(土屋建設課長)

○国民健康保険事業特別会計予算

○下水道事業特別会計予算

○介護保険事業特別会計予算

○後期高齢者医療事業特別会計予算

(質疑・自由討議・討論なし)

予算審査特別委員会

【審査意見】

1. 特に新型コロナウイルス関連事業に対する予算執行に当たっては、ウイルス対策など住民のためになるような用途として適切かつ効率的な執行を求めるものである。
2. 予算で計画した事業は簡単に中止するのではなく、事業を計画した以上は出来る方法を模索しながら執行するように求めるものである。

第1回臨時会結果 (2月15日)

令和3年第1回臨時会が2月15日招集され、行政報告の他1承認、1議案を原案どおり承認及び可決しました。

○承認第1号 専決処分の承認(一般会計補正予算 令和2年12月25日専決)

歳入歳出に107万5千円を追加し、総額41億7千481万4千円に。小学校渡り廊下パイプシャッター修繕料を追加するもの。

○議案第1号 一般会計補正予算

歳入歳出に289万6千円を追加し、総額41億7千771万円に。新型コロナウイルスワクチン接種事業を追加するもの。

いきいきふるさと

常任委員会報告

(1月27日) (2月15日)



宮崎泰宗いきいきふるさと常任委員長

いきいきふるさと常任委員会（宮崎泰宗委員長）は、所管事務調査を実施し、第1回臨時会（2月15日）及び第1回定例会（3月9日）に報告しました。

町内視察の様子



- 1月27日（調査事項）
- 1 地域医療構想について
 - 2 観光振興計画について
 - 3 町内視察
- ・道の駅
 - ・そうや自然学校
 - ・ピンネシリ温泉
 - ・もうもう
 - ・グループホーム（米田商店跡）

← 道の駅
↓



そうや自然学校





もうもう

審査意見（1月27日）

1 に対し、地域医療構想については、特に令和4年度の計画は近々に迫っている課題であるため、早急に具体的に進む方向性を詳しく示してもらう必要がある。

その上で、南宗谷福祉会との整合性についての話し合いが必須になることから、必要に応じ機会を設けスムーズに移行できるよう望むものである。

また、将来的に進む方向性について、どのくらい期間を考えているのか示してもらいたい。

2 に対し、なかとんべつ観光まちづくりビューローに委託されている領域について、課題整理に必要な資料等を議会に示すよう望むものである。



グループホーム（米田商店跡）

審査意見（2月15日）

ワークシヨップの人選に偏りが見られるので、高齢者の意見及びアドバイザー的な存在などを取り入れることにより、多くの町民の意見が反映される総合計画の策定を望むものである。

いきいきふるさと常任委員会の様子
(2月15日)

2月15日（調査事項）

総合計画について

議会の動き

令和3年

2月

- 24日 議会運営委員会
26日 議会運営委員会

3月

- 9日 第1回定例会
14日 第1回定例会（サンデー議会）
15日 予算審査特別委員会
16日 予算審査特別委員会、第1回定例会
19日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）
南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）

4月

- 1日 自治記念式
6日 議会広報編集特別委員会
13日 議会広報編集特別委員会

※行事等については、新型コロナウイルスの感染防止のため規模を縮小したことにより、来賓として出席が出来なくなっています。



コロナ対策としてアクリル板を設置した議会の様子

議員の活動実績と一般質問回数

（令和2年4月～令和3年3月）

会議名 議員名	定例会・臨時会		各種委員会		一般 質問 回数
	出席義 務日数	出席 日数	出席義 務日数	出席 日数	
高橋 憲一	14	13	14	14	4
長谷川 克弘	14	14	24	24	1
西浦 岩雄	14	14	16	15	0
宮崎 泰宗	14	14	16	16	4
東海林 繁幸	14	14	6	6	3
星川 三喜男	14	14	6	6	3
細谷 久雄	14	13	24	22	4
村山 義明	14	14	16	16	-

（注1）議員名は議席番号順（7番目が副議長、末尾が議長）

（注2）各種委員会は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。

（注3）一般質問は、定例会（年4回）で行われます。

（注4）一部事務組合議会議員（東海林議員、長谷川議員、宮崎議員、高橋議員）の日数は含まれていません。

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ 〒098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244 (直通)
fax (01634) 6-1155

編集後記

雪の多かった冬も終わりを告げ、町民の皆様のご苦勞に敬意を表します。

コロナ禍の中での日々の暮らしの不自由も重なり大変だったと思います。

今年の町の課題は第8期総合計画の策定、そして地域包括ケアプロジェクトに基づく医療・介護の新しい形を決定することになります。

人口減少や財源不足が課題ではありますが、町民や議会が知恵を出し合ってみなで助け合う、心豊かな町づくりを進めましょう。

コロナワクチンの接種が始まりますが、今までと同じように感染予防には注意しながら、早くいつもの暮らしを取り戻したいものです。

議会広報編集特別委員会(高)